

「最後の手取川歩行」

3年 池田 凜太郎

今年はコロナウイルスの影響で様々な行事の中止や制限される中で、手取川歩行が実施されたことを、先生方やPTAの方々に感謝したいです。

今年の手取川歩行では、様々なことを学ぶことができたので、とても良い経験になりました。一昨年や昨年は完歩を目指すだけでしたが、今年は3年生として、色々な所に目を配り、できるだけ生徒の安全を確認しながら歩行することができました。また、歩行の途中では、疲れが溜まっている時に、生徒同士が声を掛け合っている様子を見て、とても感動しました。この手取川歩行を通じて生徒同士の絆が、より深まったのではないかと思います。苦しい時にお互いに励まし合ったり、また、くじけそうな人がいたら励ましの声を掛けるなど、人と人々が支え合って困難を乗り越えていく大切さを学びました。

今回の手取川歩行を通じて学んだことを忘れず、これからの進路実現に生かしていきたいと思います。

そして社会人になっても、鶴来高校の行事を通して身に付けた「感謝する気持ち」・「周りを見る力」・「最後まで諦めない強い気持ち」を心がけていきたいです。

「2回目の手取川歩行」

2年 南出 智紅

10月1日に本校の伝統的な行事、手取川歩行がありました。手取川歩行は今年で2回目になります。今年は新型コロナの影響で6月から色々な行事が中止になったりして、この伝統的な行事が無くならないかと、とても心配でした。しかし、予定通り実施することができて、保護者の方や先生方には感謝しています。

当日の朝は雨が降っていて、気分も下がりましたが、だんだん天気が良くなってきて、出発のときにはとても綺麗に晴れて、気分が上がり嬉しい気持ちになりました。

今年は、教育実習生の高田栞里先生と一緒に歩行しながら、たくさんお話することができて、楽しかったです。高田先生は本校の卒業生でもあり、スポ科の先輩にあたる方です。スポ科は女子が少なく、男子ばかりの環境でとても大変だったことや、楽しかったことなど、たくさん共感することがありました。高田先生と話をしたことで、私ももっともっとスポ科で頑張ろうという気持ちが湧いてきました。

私にとって23キロを歩行するということは、とても辛いことです。歩行の途中、足や気持ちが辛くなってきた時に、友達や先生が励ましてくれたおかげで最後まで笑顔で楽しく完歩することができて良かったです。

この行事を通じて、苦しい状況の中で励ましてくれる方々への感謝の気持ちや、友達との助け合いで乗り越えられた達成感、そしてゴールした充実感などたくさんのことを学ぶことができました。

自分自身とても成長できた1日でした。これからは、今回学んだことを、部活動や進路実現に活かしていきたいと思いました。

半年後には、3年生になります。最上級生として、責任と自覚を持ち1、2年生の模範生となれるように頑張ります。